

辻元清美の詐欺事件を振り返る

犯行は国民の負託に背く背信行為で悪質 東京地方裁判所平成15年刑(わ)第2860号詐欺被告事件 判決文

事件の悪質性は判決文の出てくる【悪質】という言葉の数でも明らか

一面新聞

2018年
6月8日(金)

発行者
DAPPI



第39号



どういう事件？

2002年に発覚した辻元清美やその秘書らによる議員秘書給与詐欺事件。

辻元清美ら4人が1870万円の秘書給与を騙し取ったとして逮捕。

逮捕後は口裏合わせをして証拠隠滅を図った事実及び詐欺容疑を全面的に認めた。

辻元清美は2004年2月12日、懲役2年執行猶予5年の判決を受けた。

判決では辻元清美の行為の悪質性を国民の負託ないし信頼に真っ向から背く背信行為であって悪質。現職の国会議員であったのに共謀し悪質な詐欺事件を敢行。

しかも犯行後には辻元が虚偽内容の弁解を強弁するという国会議員としてあるまじき無責任な対応をし、国民に強い政治不信を招いたこともうかがわれる。

本件が社会に及ぼした悪影響も深刻なものであるというべきである」と激しく断罪。

執行猶予付きの判決については「議員辞職するなど反省をしている。その反省の態度を信じて特に今回に限り、その刑の執行を猶予するのが相当」と述べられた

平成16年2月12日宣告 判決文概要

被告人A（辻元清美）の政策担当秘書として採用する意思も採用した事実もないのに、これらがあるように装い、政策担当秘書の給与受給の名目で、2年余りの間に衆議院から合計1874万円余もの公金を詐取したという詐欺の事案である。

勤務実態の全くない名義貸しという最も悪質な手法を用いて、公設秘書よりも高額な政策担当秘書給与をあえて詐取したものであり、このような犯行は、同制度が国民の信頼を裏切ることのないようにと様々に配慮されて創設されたという前記のような経緯、あるいは議員の政策立案や立法調査作業を直接補佐させるという制度の趣旨を全くないがしろにするもの。

国会議員に対する厚い信頼をも悪用し、平然と内容虚偽の書面を提出することにより本件各犯行に及んだものである。従って本件の犯行態様は国民の負託ないし信頼に真っ向から背く背信行為であって悪質というほかない。

しかも犯行後には、被告人Aが後にみるように虚偽内容の弁解を強弁するという国会議員としてあるまじき無責任な対応をしたため、国民に強い政治不信を招いた。本件各犯行が社会に及ぼした悪影響も深刻なものであるというべきである。

本件各犯行の態様の悪質性、結果の重大性、安易で自己中心的な目的、詐取した金員の広範な使途ないし一部の蓄財、本件各犯行において被告人Aの果たした主導的役割、その得た不法な利益の大きさ、犯行後の情状の悪質さに照らすと本件は事案として重大であって被告人Aの刑事責任も重い。

被告人Aに対しては懲役2年に処した上、その反省の態度を信じて特に今回に限り刑の執行を猶予するのが相当である。



辻元清美被告

報道回想録

虎ノ門ニュース（2018年6月6日 DHCテレビ）



万が一に備えるのが国会議員の仕事では？
6月6日に放送された虎ノ門ニュースでジャーナリストの井上和彦氏が『空母は不要』と発言した立憲民主党の枝野幸男氏に対し『専守防衛だから空母は不要という枝野幸男にはその理屈を説明してほしい。無茶苦茶すぎる。こちらの能力を超える地域からの攻撃を殲滅するには艦載機や戦闘機が必要なのになぜダメ？空気で言わないでほしい』と苦言。

また井上氏は「雲行きが怪しくなったら折畳み傘で万が一に備える。それが自衛隊。自衛隊があるから戦争になるの？消防署があるから火事があるというのは馬鹿な理屈。万が一に備え考えるのが国会議員の仕事では？」という苦言に対し番組MCの居島一平氏は「枝野氏は『傘を持ったら雨が降る』と言ってるのと同じ」と続いた。

注目のインターネット情報

長尾氏 外国人の保険制度の不正使用を問題視

DAPPI
@take_off_dress

長尾敬「健康保険制度の在留外国人による不正が懸念されてる。例えば癌になった外国の方が留学手続きをとり3カ月滞在し保険証をとれば本来1500万掛る医療費を高額療養費制度の利用で60万の負担で治療し本国に帰ることは制度上可能。実際に申請書類偽造で逮捕された事案もある」

長尾さんGJ！

#kokkai



10:10 - 2018年6月1日

5,567件のリツイート 8,243件のいいね



2018年6月1日 衆議院厚生労働委員会